DEIセンター学生スタッフ主催

HUMAN LIBRARY

～LGBTQ+当事者として生きるってどういうこと？～

ヒューマンライブラリーとは？

話す人が「本」となり、聞き手は「読者」として少人数で対話をするイベントです。
「本」の方の多様な経験や考えを直接受け取ることで、自分自身も気づきを得られる企画となっています。

開催日程

12月1日(火)　11:30～13:00

法政大学市ヶ谷キャンパス　富士見ゲート1階DEIセンター

対象者：法政大学の学生・院生・通教生・教職員

LGBTQ+当事者のライフヒストリーをたどりながら、
今日の日本社会でLGBTQ+当事者として生きることについて考えます。
普段なかなか質問できない疑問も、
アットホームな場だからこそ深く掘り下げられます。
少人数だからこそできる対話を、ぜひ体験してみませんか？

問い合わせ先：ダイバーシティ・エクイティ＆インクルージョンセンター（DEIセンター）

本の紹介

長崎珠莉菜さん

トランスアクティビスト珠莉菜の、これまでとこれから。

長崎珠莉菜（ながさきじゅりな）。任意団体diversity subway代表・大学３年生・トランスジェンダー女性。高校２年生のとき（４年半前）、通っていた成蹊高等学校の団体「成蹊高校スクール・ダイバーシティ」に参加を始め、現在もユースアクティビストとして、さまざまな団体あるいは個人でDE&I, LGBTQ+, SRHRに関する活動を継続中。個人活動のビジョンは「「ありのままの自分」「表現したい自分」を尊重しあえる未来」。当日は、自分がトランスジェンダーとして誇りが持てるようになった過程や、これから目指していきたいことなどについてお話しします！

Instagram : @jurina_ngsk
Website: https://sites.google.com/view/jurina-nagasaki





高橋拓也さん

誰かの「ふつう」を演じるのはやめた ――
当事者として、一人の人間として生きる

周りの求める「ふつう」を演じ、偽りの自分で生きることに苦しんだ過去。気付けば本当の自分を見失っていました。すべてをさらけ出すことは難しいけど、できるところから「ありのままの自分」で振舞えるようになった時、ようやく人生が生きやすくなりました。挫折や葛藤を乗り越え、現在は「誰もが自分らしく生きられる社会の実現」を人生のビジョンに、NPOで若者の居場所づくりやキャリア支援を行っています。

あなたは今、誰かの理想を演じていませんか？「自分らしく生きるとは」「他人軸と自分軸」など一緒にお話ししてみませんか？

1996年新潟県生まれ。大学時代にLGBTサークルを立上げ、人材系スタートアップ企業にて就活/採用支援や社内のD&I推進に従事。卒業後はIT企業でエンジニアとして約5年間勤務。2024年国家資格キャリアコンサルタントを取得。現在はNPOにて社会的養護経験者や虐待サバイバーなど「親を頼れない若者」の居場所支援や相談業務に従事する傍ら、就活系サイトのライターや、D&I関連の講演・イベントスタッフなど、「生き方支援」を精力的に行う。

応募フォーム
申込期限：11月27日

定員：２０名